

日本造船工業会提出資料

ヒアリング項目	回答	記事
ア 総論		
① 適用除外製品等の代替化に向けた方針(又は考え方)、取組(又は活動)状況、問題点、具体的な進捗状況、今後の見通し等	<p>1. ジョイントシートガスケットについて 高温、又は高圧用ガスケットの代替化候補品について、18年度に実証試験を実施。全てのガスケットについて、代替化の見通しを得る。 17年度契約潜水艦から、主機関の高温用を除いてノンアスベスト材を適用。主機関は18年度契約潜水艦からノンアスベスト化の予定。</p> <p>2. グランドパッキンについて 16年度契約潜水艦から、全面的にノンアスベスト材を適用。</p>	
② (昨年と比較し、)代替が困難な製品の個数が減った理由。	18年度実証試験の成果に基づき、可能となった。	
イ 代替化の困難な適用除外製品等について		
① シール材の種類、用途・使用部位、使用条件(温度、圧力等)、使用個数等	} 特になし	
② 実証試験の状況等		
③ ②を踏まえた代替化可能時期(見込み)		
ウ アのうち代替化の見通しが立っていないものについて		
① 理由(コスト、性能や安全性などの問題から適当な代替品が無いなど)	} 特になし	
② 対応(他の代替品を選定、設備の改造を検討など)		
③ 代替化可能時期の見通しが立つ時期		
④ 個別の代替化困難事例		
エ その他		
① 適用除外製品等の代替化に当たって、海外の代替品(輸入品)を使用している場合、海外における実証試験の結果やその活用方法等	高温用ガスケットは、輸入品を採用する予定である。技術情報は得られるも、最終的には国内で実証試験を行っている。	